

第75回マチコミリサーチ 『今学期の学習のふりかえりについて』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『今学期の学習のふりかえりについて』のアンケートを実施いたしました。

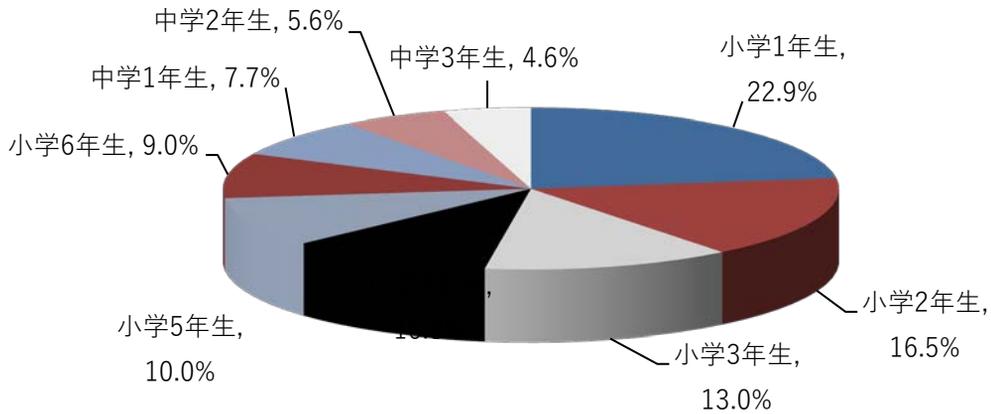
< 調査概要 >

| | |
|-------|-----------------------|
| 調査期間 | 2018年7月5日(木)～7月10日(火) |
| 調査方法 | 携帯サイト上のアンケートフォームにて回答 |
| 調査対象 | 全国の小学校・中学校のマチコミメール会員 |
| 調査対象数 | 1,088,979名 |
| 有効回答数 | 19,690件 |

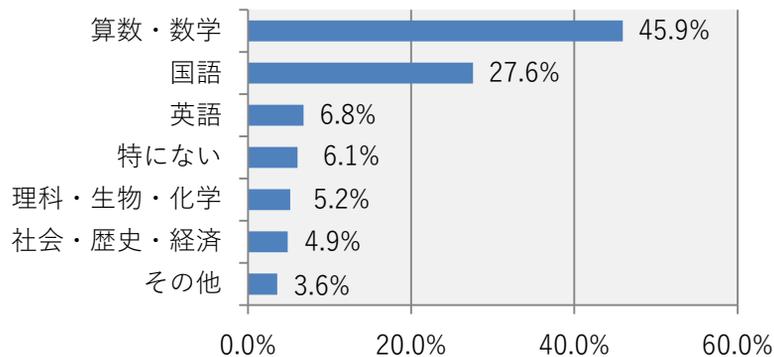
< 質問項目 >

| | |
|---|--|
| 1 | お子さまの年齢は？※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。 |
| 2 | お子さまが新学期に1番頑張ったと思われる科目は何ですか？ |
| 3 | お子さまにこの夏休みに頑張って欲しい科目は何ですか？（複数回答） |
| 4 | お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？ |
| 5 | お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組みますか？ |
| 6 | お子さまが現在、学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？ |
| 7 | タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(いくつでも) |
| 8 | 英語教育が大きく変わり、小学校では3年生から必修化され、5年生からは通知表に成績がつくようになります。あなたはこのことをご存じでしたか？ |
| 9 | お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答) |

質問1：お子さまの年齢は？※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。

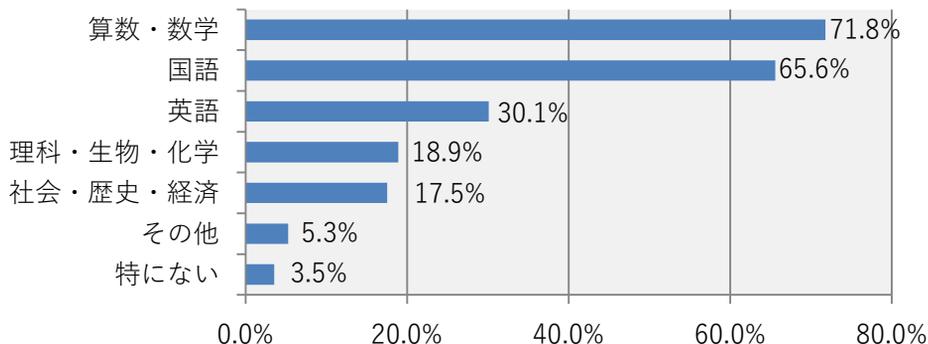


質問2：お子さまが新学期に1番頑張ったと思われる科目は何ですか？



「算数・数学」「国語」「英語」の順となりました。やはり主要三科目に力を入れているお子さまが多いようです。次項で夏休みに頑張りたい科目を見てみましょう。

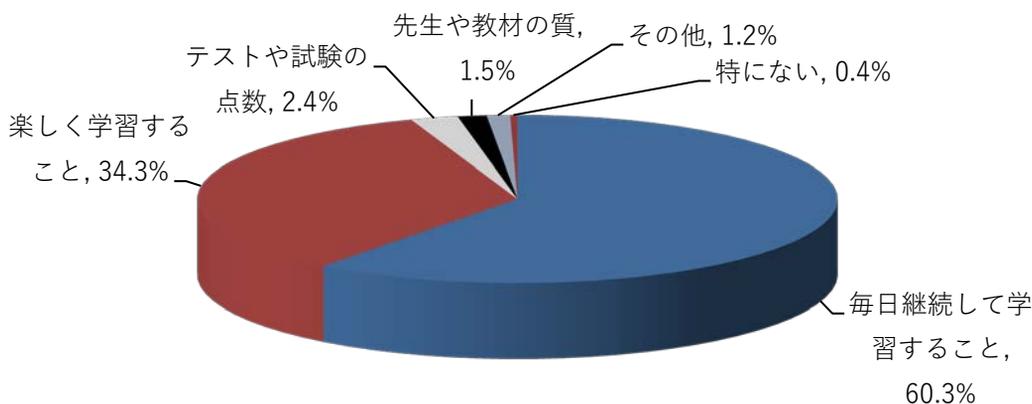
質問3：お子さまにこの夏休みに頑張って欲しい科目は何ですか？（複数回答）



「頑張った科目」と同様に「算数・数学」「国語」「英語」の順となりました。他社のアンケートでは苦手な教科の上位が「算数・数学」「国語」との結果が出ています。（※1）「国・数・英」はやはり重要科目。苦手科目だからこそ、夏休みにも取り組んで欲しいという保護者の気持ちが現れたようです。

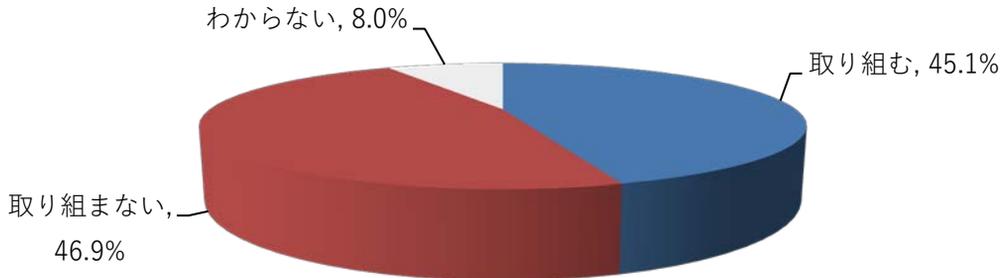
（※1）出典：バンダイこどもアンケートレポート Vol.229 「小中学生の勉強に関する意識調査」 結果 <http://www.bandai.co.jp/kodomo/pdf/question229.pdf>

質問4：お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？



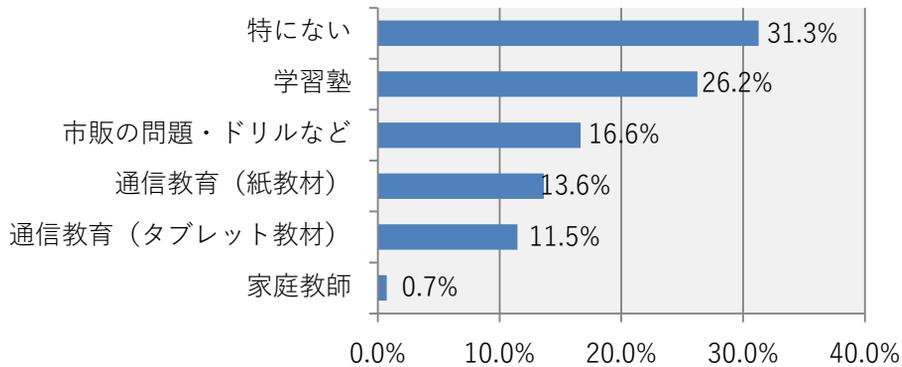
約6割の方が「毎日継続して学習すること」と回答されました。継続は力なりという言葉がありますが、お子さまが毎日学習に取り組んでくれるようになったら、親としては安心ですね。続いて多かったのは「楽しく学習すること」で約3割の方が回答されています。楽しみながら勉強することは、好奇心を育て、理解も深まります。子どもは本来、好奇心のかたまり。子どもが質問をしてきたら、「よくそこに気づいたね!」「いい質問だね!」と、感心を示してみてください。自分の好奇心を肯定され続けると、ますますいろいろなものに興味が広がっていくかもしれません。

質問5：お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組めますか？



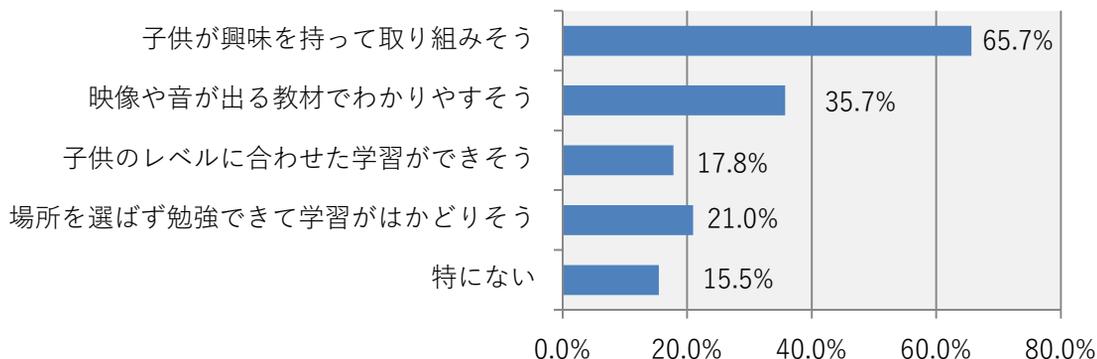
「取り組まない」がわずかに「取り組む」を上回る結果になりました。
 「取り組まない」お子さまは、なにか変わるきっかけがあれば「取り組む」ようになるのでしょうか？

質問6：お子さまが現在、学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？



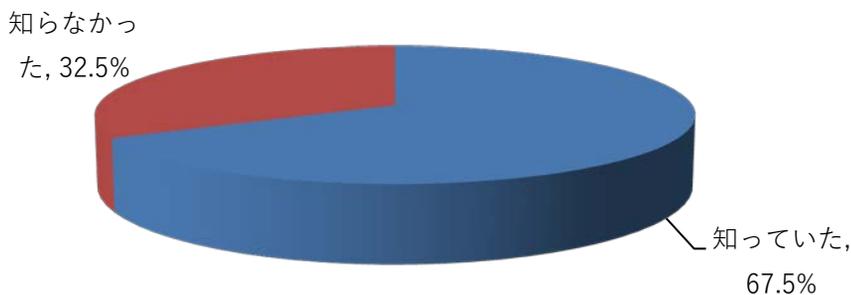
「特にない」を除くと「学習塾」に行かれている方が一番多く、「市販の問題・ドリルなど」が続きました。通信教材についてはタブレット教材が紙教材に迫り、ほぼ同じくらいの割合となりました。通信教材の形も変わりつつあるようです。

質問7：タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(いくつでも)



約6割以上の方が、「子どもが興味を持って取り組みそう」と回答されました。元々保護者の世代よりデジタル機器に馴染みのある子どもたち。タブレットを使うことにより楽しく学習することが期待されているようです。

質問8：英語教育が大きく変わり、小学校では3年生から必修化され、5年生からは通知表に成績がつくようになります。あなたはこのことをご存じでしたか？



7割近い保護者の方が「知っていた」と回答されました。「知らなかった」という方は約3割という結果でした。英語は2011年度に「小学5年生から必修」となり、今では小学校での英語教育はすっかり浸透しています。この流れはさらに低学年化されることとなります。「小学3年生からの必修化」は2020年度に完全実施されます。

質問9：お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答)

多かったのは、以下3項目でした。

回答数：8,430件

- ・集中力が持続しない
- ・1人だと勉強できない
- ・学習習慣がついていない

その他にもたくさんのお悩みが挙がりましたので、いくつかご紹介します。

- ・スポーツ系の習い事と、勉強時間の確保の両立が難しい。
- ・その日の気分で出来る問題も分からないとか、毎日ムラがあるので困ります。
- ・ただだと時間ばかりがかかる。途中で気が散るのでケアレスミスが多い。
- ・テレビの誘惑に勝てなくて、なかなか継続して勉強ができない。
- ・両親共働きでなかなか一緒に学習出来ない。できても夜遅くなりがち。
- ・こどもが3人おり、リビングで学習しているが、集中力がもたない気がしている。私と一緒に隣に座って見てやればよいが、毎日は難しい。

まとめ

今回のアンケートでは、頑張っで欲しい科目に「国・数・英」の重要科目が並び、お子さまに毎日コツコツ、自主的に学習に取り組んで欲しいとの保護者の願いが浮き彫りになりました。しかし、なかなかそうはうまく行かないもの。共働きの多い現代では一緒に勉強を見てあげられる時間も限られます。

また、タブレット端末での学習についてのイメージを聞いたところ「子どもが興味を持って取り組みそう」との回答が多く集まりました。お子さまの自主学習を促す手段として期待されているようです。なかなか理解が難しい図形や英語の発音など、音声や映像を使った多角的な学習をすることで理解度も深まります。学習状況を保護者のスマホから確認することができるものがあるようですので、保護者としても安心ですね。

どのように子供に学習を促すか。今学期のふりかえりをした上でお子さまにあった勉強方法や教材を選んでみると、この夏休みもより充実したものとなるかもしれません。